

明倫短期大学 学生 IR 調査 2015 年

[歯科衛生士学科 3 年次生 47/47 名]

調査ご協力をお願い



大学教育再生加速プログラム

2015 年 9 月 実施

[取組の趣旨]

- ・本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2 年～3 年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- ・専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- ・その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の 3 つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査（「一年生調査 2013 年」）の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[2] 所属する学科

1. 歯科衛生士学科 : 47 名 2. 歯科技工士学科 : 0 名

[3] 性別

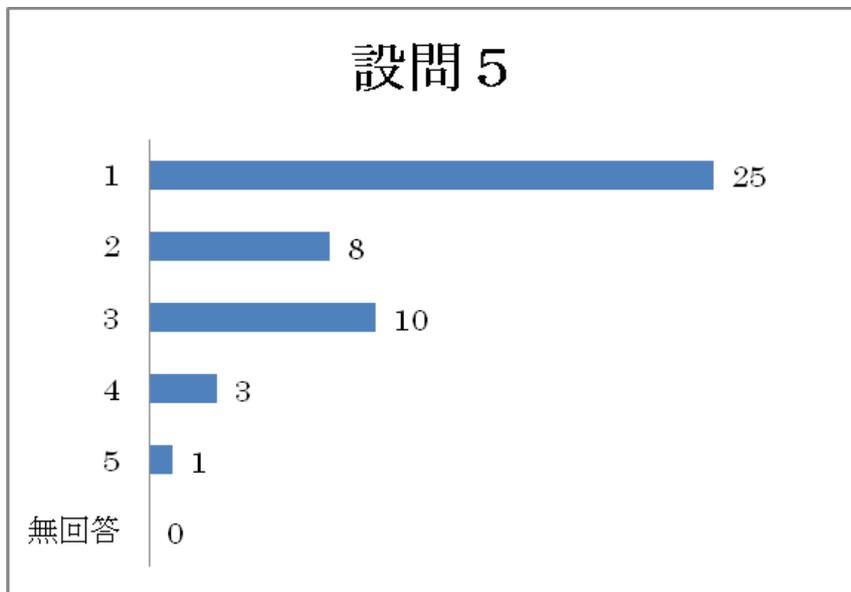
1. 男性 : 0 名 2. 女性 : 47 名

[4] 2015 年 4 月 1 日の時点の年齢

20 代 —— 20 歳 : 43 名 21 歳 : 2 名 22 歳 : 1 名 28 歳 : 1 名

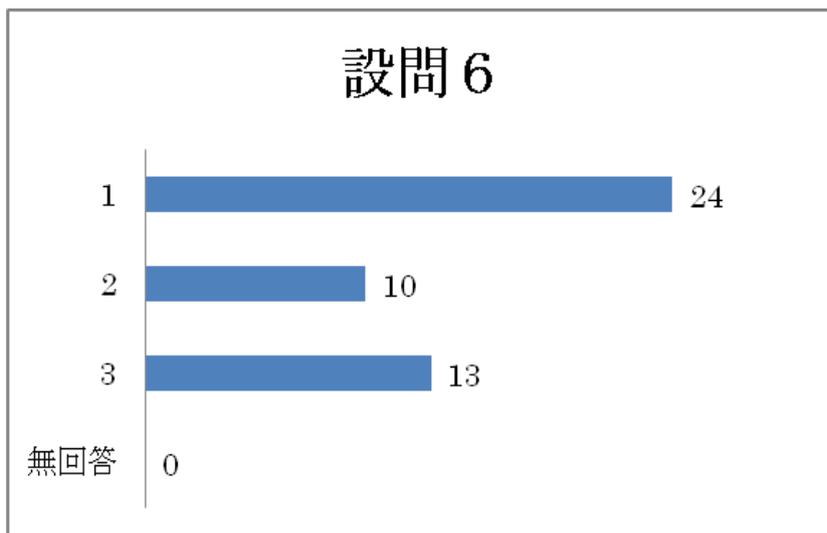
[5] 通学にかかる時間 (片道)

- 1. 30分未満
- 2. 30分以上～1時間未満
- 3. 1時間以上～1時間30分未満
- 4. 1時間30分以上～2時間未満
- 5. 2時間以上



[6] 現在の住まい

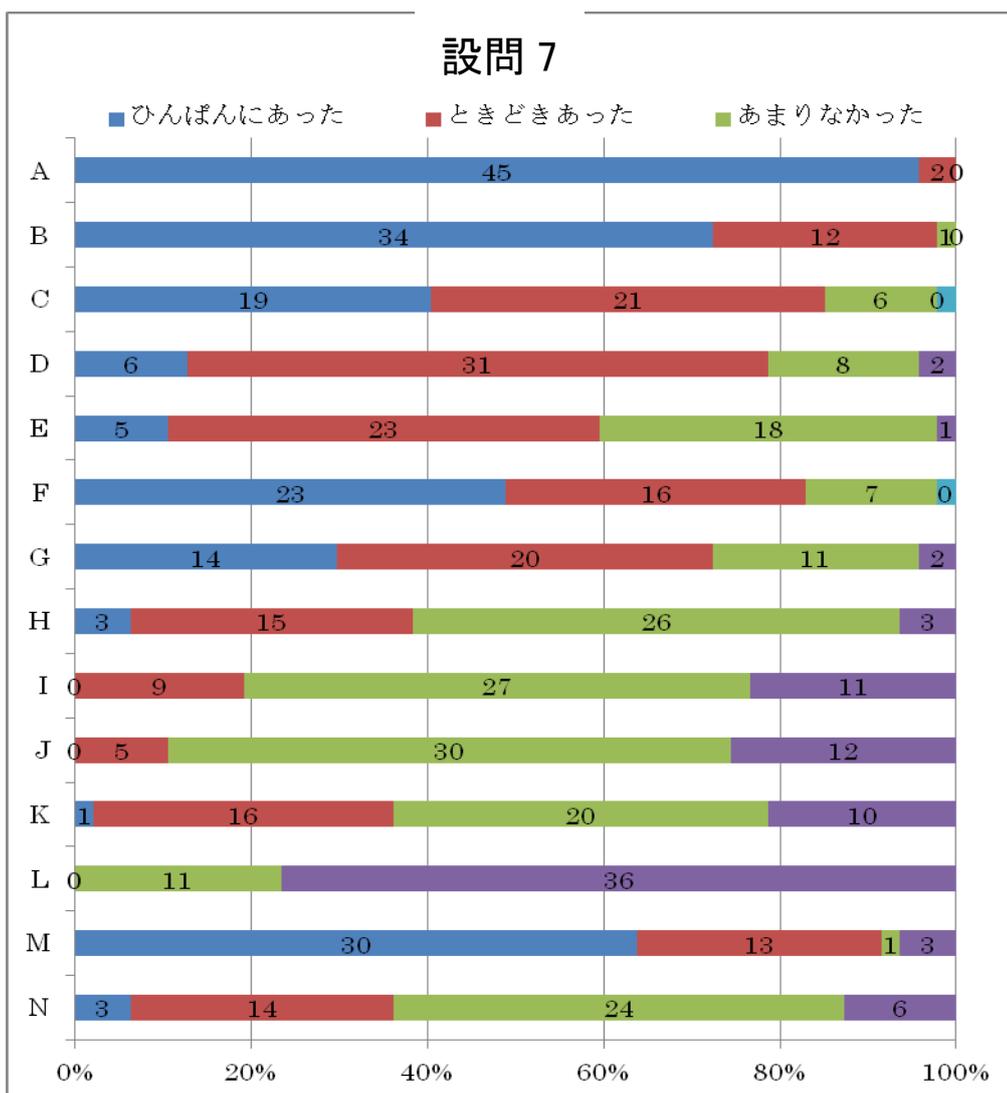
- 1. 家族または親戚と暮らしている
- 2. アパート・学生マンションでひとり暮らし
- 3. 大学寮や合宿所



Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

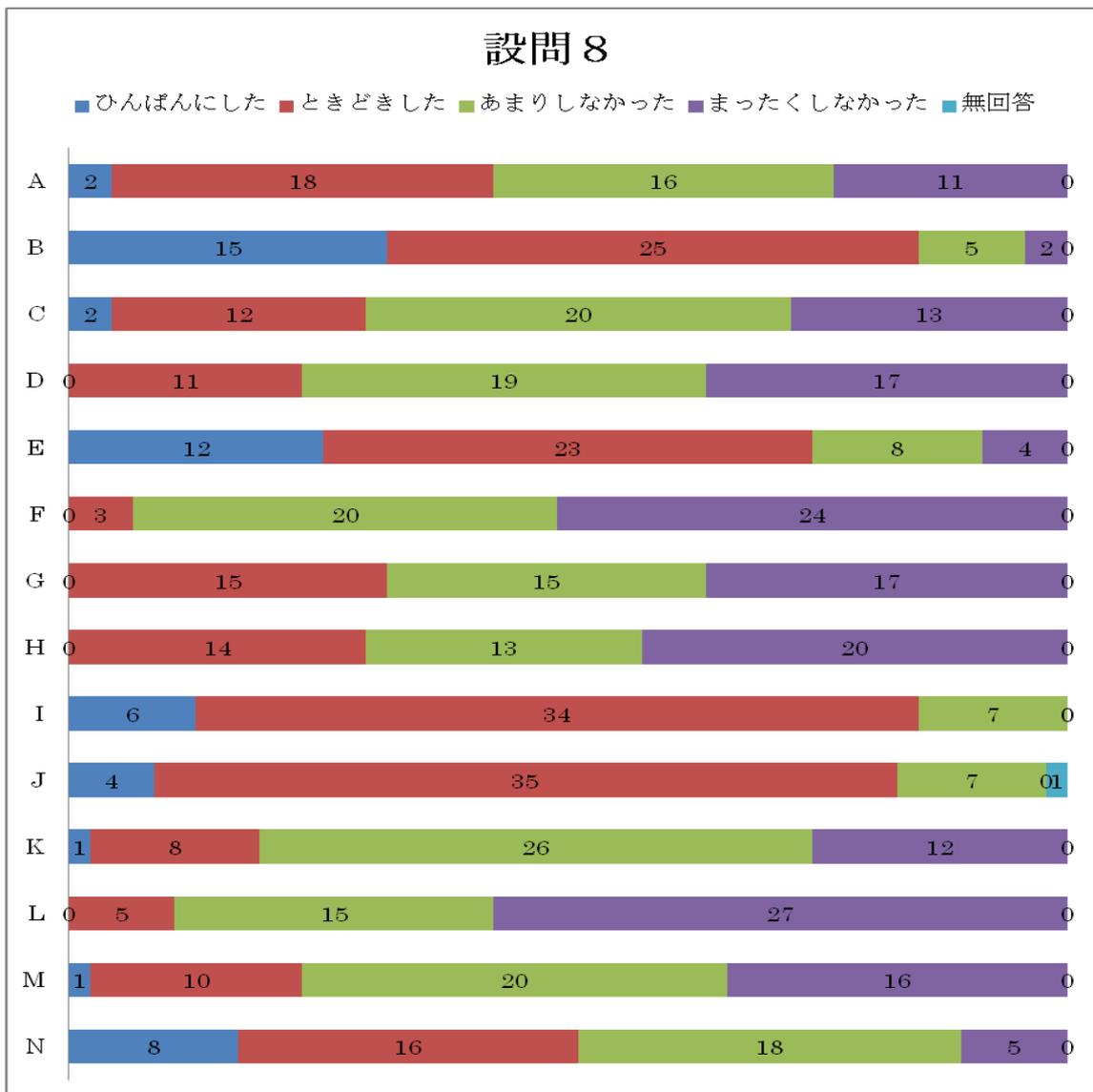
[7] 大学の授業の内容や特徴

- A. 演習、相互実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- D. 授業の一環でボランティア活動をする
- E. 学生自身が文献や資料を調べる
- F. 定期的に小テストやレポートが課される
- G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- H. 学生が自分の考えや研究を発表する
- I. 授業中に学生同士が論議をする
- J. 授業で検討するテーマを学生が設定する
- K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- L. 取りたい授業を履修登録できなかった
- M. 出席することが重視される(助者) から補助を受ける
- N. TA・SA(専攻科生・上級生や大学院生授業補助者) から補助を受ける



[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

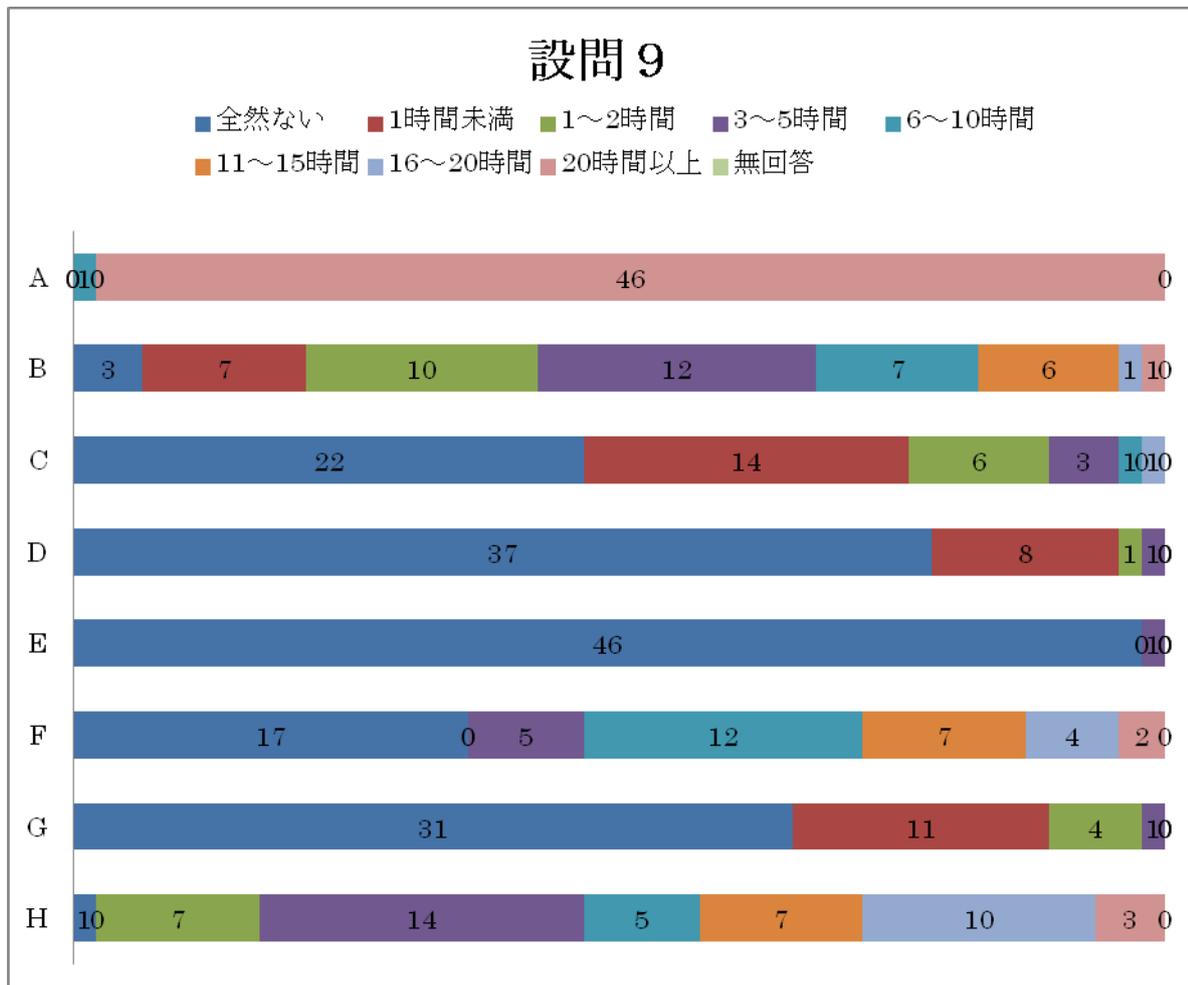
- A. 授業課題のために図書館の資料を利用した
- B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった
- E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- G. 授業を欠席した
- H. 授業に遅刻した
- I. 授業をつまらなく感じた
- J. 授業中に居眠りをした
- K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした (アドバイザーも含める)
- L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした (卒業後の進路や職業選択など)
- N. 教員に親近感を感じた



[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

- A. 授業や実験に出る [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
- B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
- C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
- D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
- E. 部活動や同好会に参加する
- F. 大学外でアルバイトや仕事をする
- G. 読書をする (マンガ・雑誌を除く)
- H. 個人的な趣味活動をする (テレビやゲーム、映画鑑賞など)

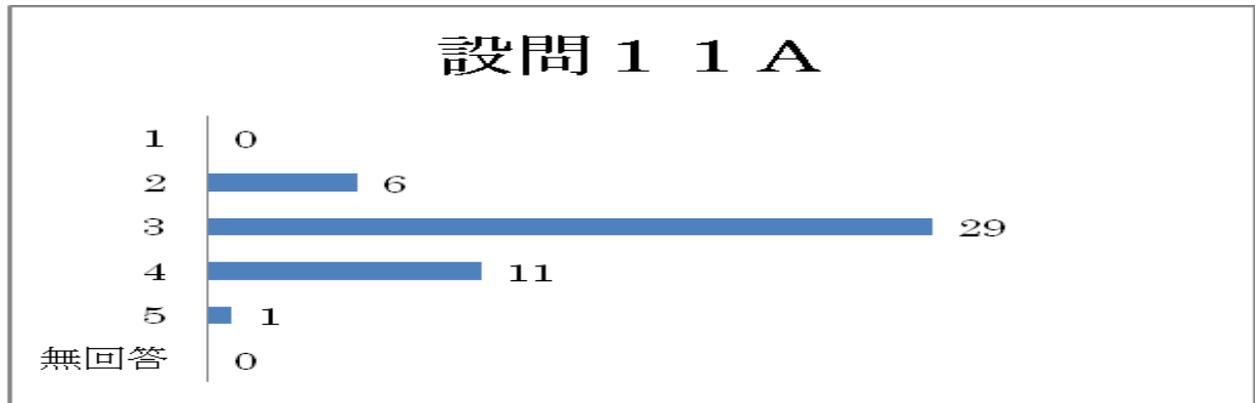
※時間の目安・・・1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間
 1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間



Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

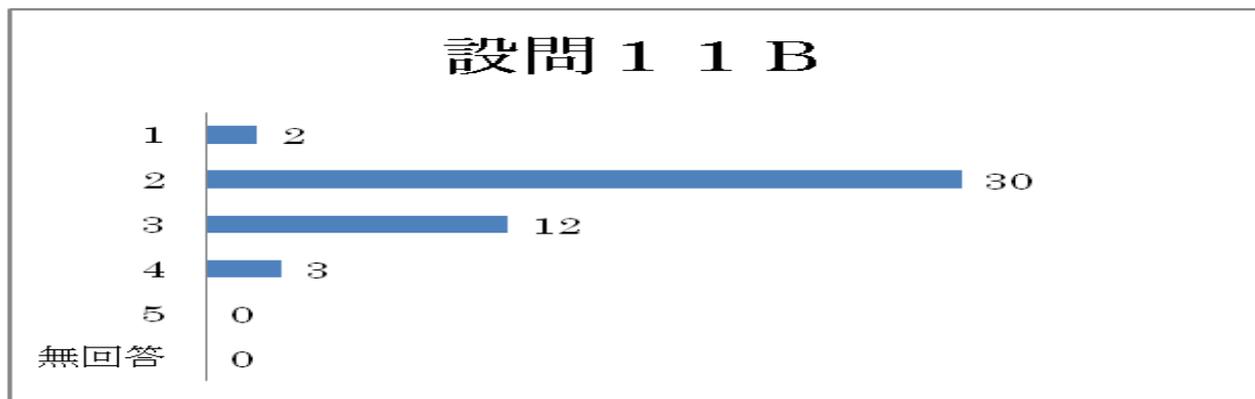
[11A] 学内での演習が好きか

1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. 好きでも嫌いでもない 4. どちらかといえば嫌い 5. 嫌い



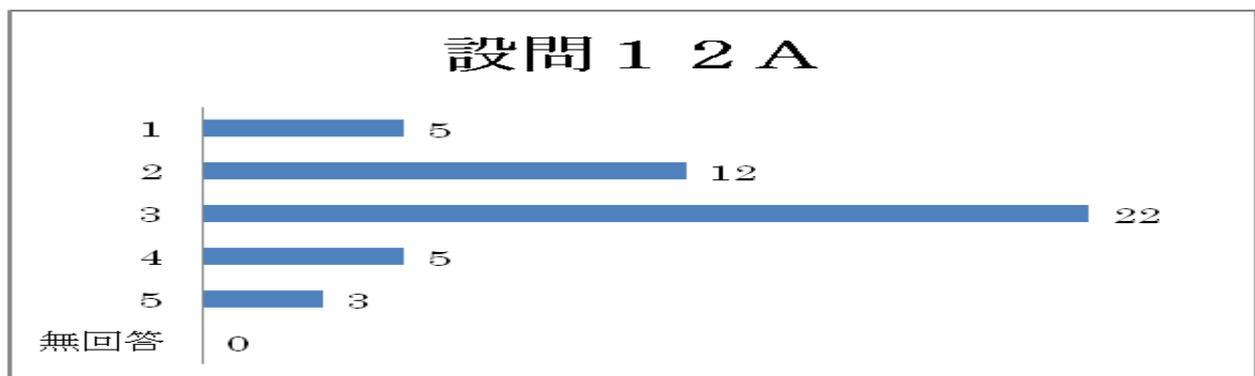
[11B] 学内での演習に意欲的に取り組んでいるか

1. 意欲的 2. どちらかといえば意欲的 3. どちらでもない
4. どちらかといえば意欲的でない 5. 意欲的でない



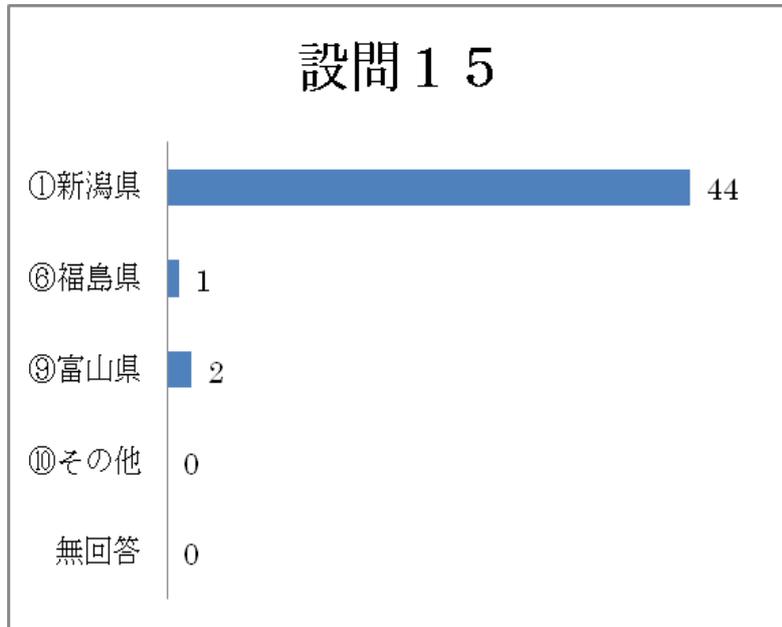
[12A] 学外での実習が好きか

1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. 好きでも嫌いでもない 4. どちらかといえば嫌い 5. 嫌い

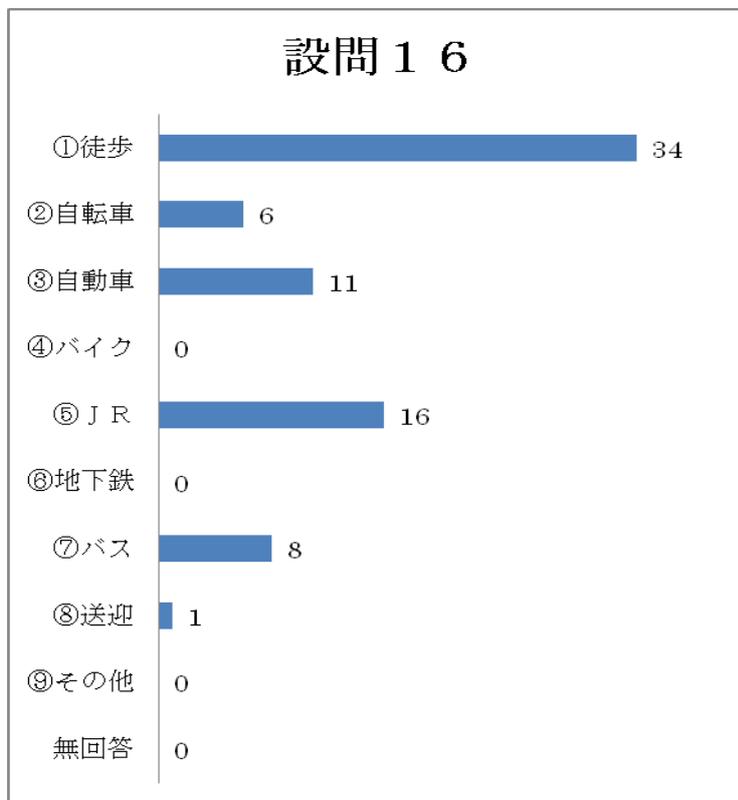


VI. 現在の学生生活について

[15] 出身地

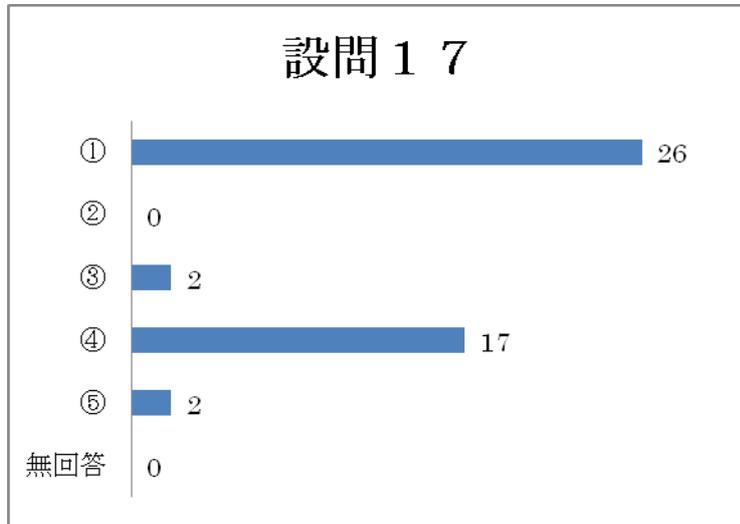


[16] 大学までの交通手段



[17] 奨学金の利用

- ①日本学生支援機構の奨学金 ②日本介護福祉士修学資金
③以前受けていたが今は受けていない ④受けていない ⑤その他



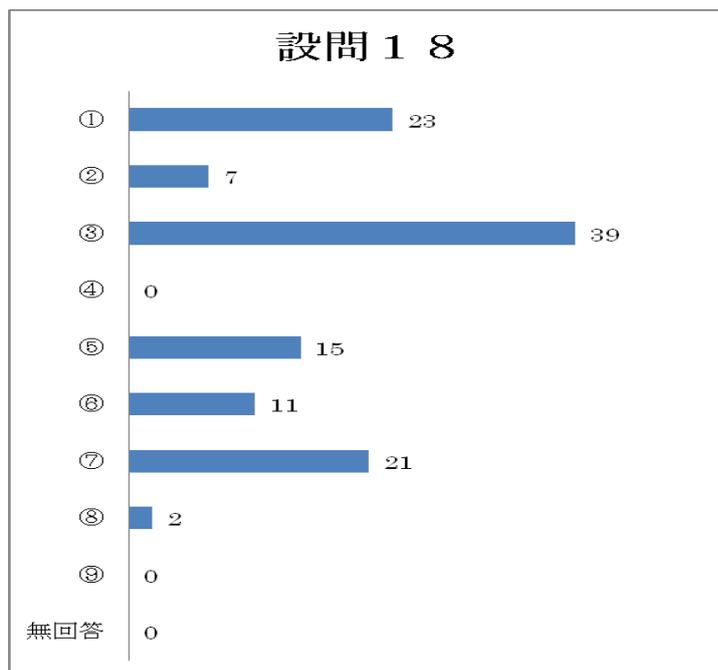
【その他の回答】

学校の給付奨学金と市の奨学金：1名、無記入：1名

[18] 大学生生活の目的

(当てはまるすべてのものに○をつけてください。)

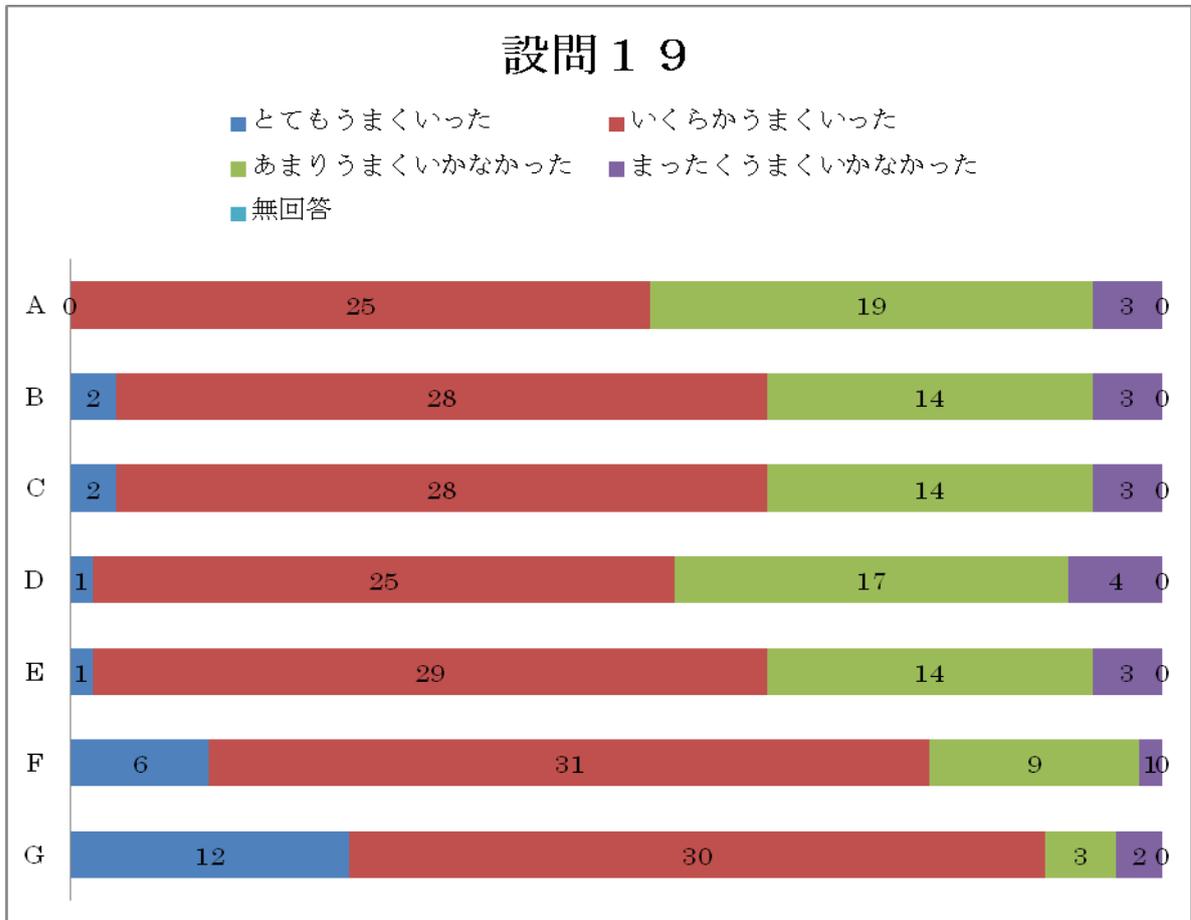
- ①専門的な研究や知識を身につける ②豊かな教養を身につける
③学歴や資格を得る ④クラブやサークルを楽しむ
⑤希望する職業に就く ⑥学生生活を楽しむ
⑦友達とのかかわりを楽しむ ⑧特に目的はない ⑨その他



V. 大学生生活に対する考えや満足度について

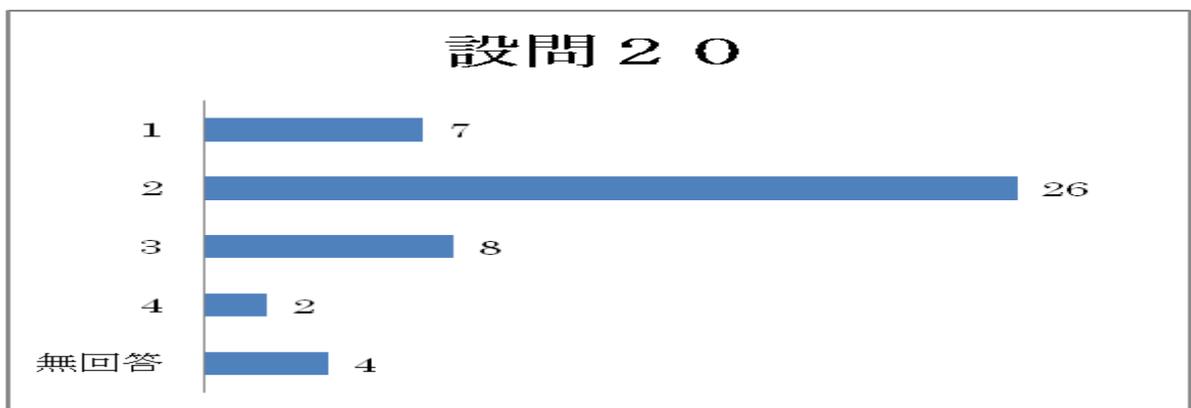
[19] 大学生生活への円滑な移行

- A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する
- B. 大学教員の学問的な期待を理解する
- C. 効果的に学習する技能を修得する
- D. 大学が求める水準に応じて学習する
- E. 時間を効果的に使う
- F. 大学教員と顔見知りになる
- G. 他の学生との友情を深める



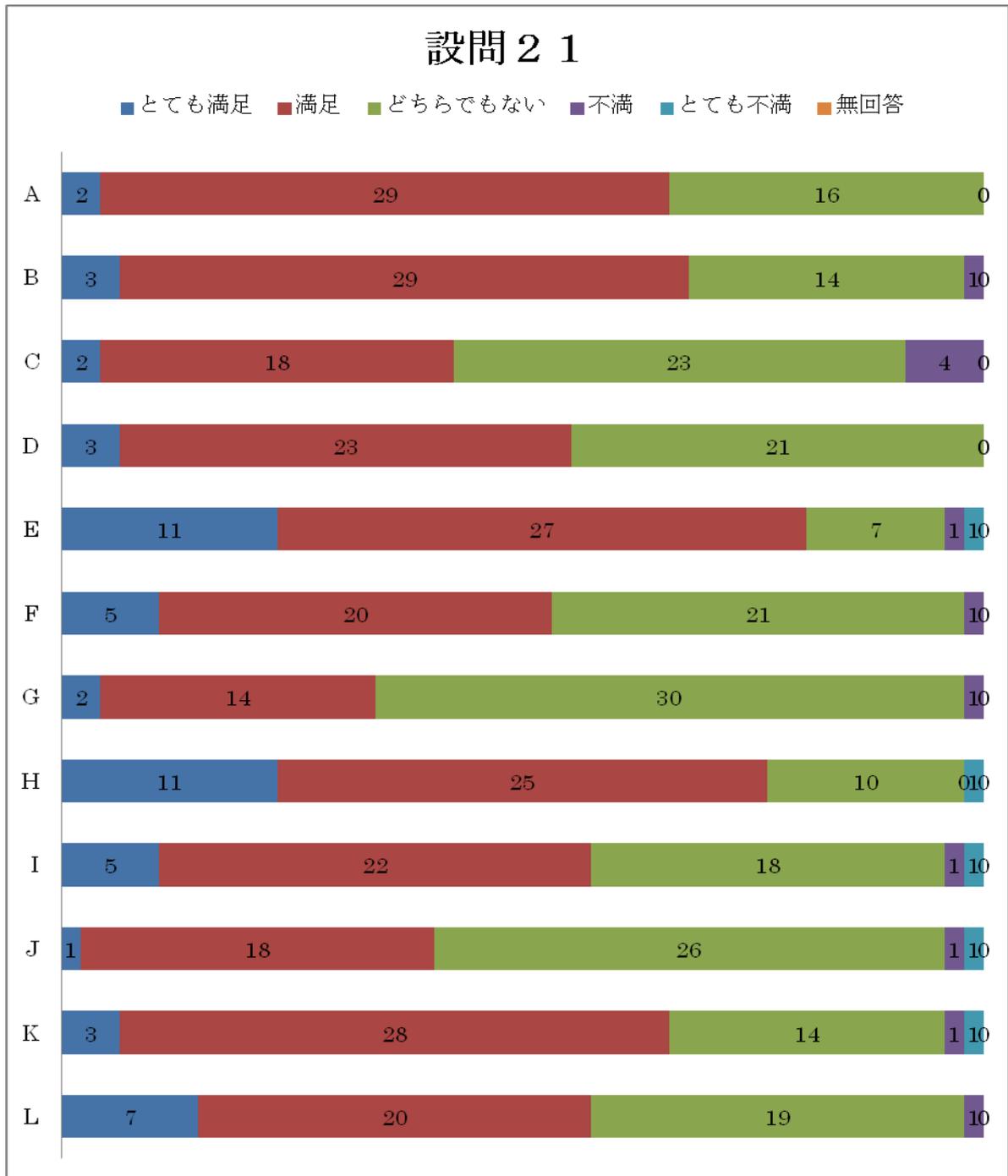
[20] 学生生活の充実

- 1. 充実している
- 2. まあまあ充実している
- 3. あまり充実していない
- 4. 充実していない
- 無回答



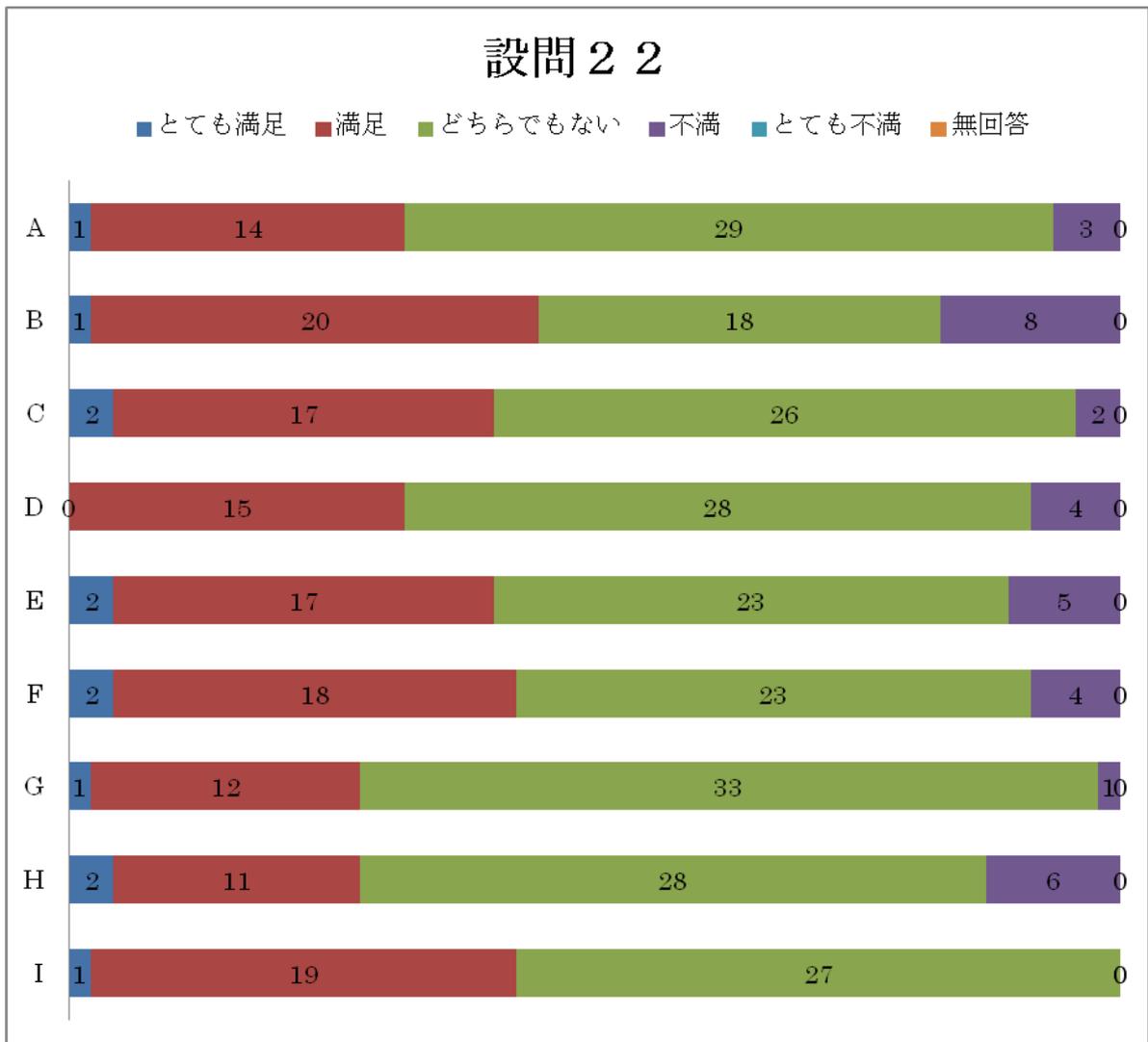
[21] 教育内容の満足度

- A. 専門教育あるいは所属学科の授業
- B. 学内の相互実習や学外実習
- C. 授業の全体的な質
- D. 日常生活と授業内容との関連
- E. 将来の仕事と授業内容との結びつき
- F. 教員と話をする機会
- G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など）
- H. 他の学生と話をする機会
- I. 大学のなかでの学生同士の一体感
- J. 多様な考え方を認め合う雰囲気
- K. 大学での経験全般について
- L. 1つの授業を履修する学生数



[22] 設備や学生支援制度の満足度

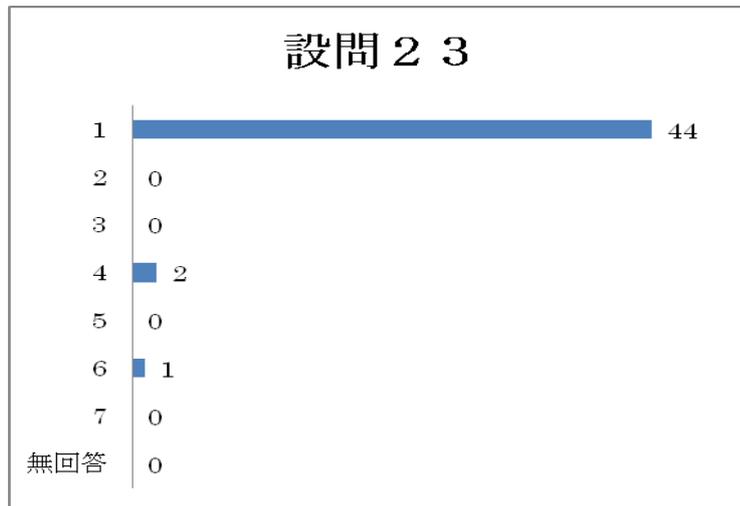
- A. 図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）
- B. 実習室の設備や器具
- C. コンピュータの施設や設備
- D. コンピュータの訓練や援助
- E. インターネットの使いやすさ
- F. 奨学金など学費援助の制度
- G. 健康保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談）
- H. レクリエーション施設（体育館の設備など）
- I. キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

- 1. 就職する
- 2. 専攻科に入学する
- 3. 留学する
- 4. 他大学に（編）入学する
- 5. 専門学校に入学する
- 6. まだわからない
- 7. その他



以上